

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		増減金額	
	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 非支配持分控除前当期純利益		3,621	27,016	23,395
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 非支配持分控除前当期純利益の調整				
(1) 減価償却費	27,014		22,984	
(2) 固定資産除売却損(純額)	558		606	
(3) 長期性資産の減損	217		413	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△ 636		△ 7	
(5) 投資有価証券の減損	632		805	
(6) 退職給付引当金	△ 5,110		△ 4,785	
(7) 繰延税金	△ 1,031		5,374	
(8) 持分法投資損益	2,792		190	
(9) 資産・負債の増減				
①受取手形及び売掛金の増加	△ 14,440		△ 16,227	
②たな卸資産の減少(△増加)	4,977		△ 12,174	
③その他の資産の減少	4,457		1,048	
④支払手形及び買掛金・未払金の増加	13,298		9,301	
⑤未払税金の増加(△減少)	1,995		△ 453	
⑥未払費用及びその他流動負債の増加	4,554		8,383	
(10)その他(純額)	△ 139		△ 518	
営業活動によるキャッシュ・フロー		39,138	14,940	△ 24,198
		42,759	41,956	△ 803
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入	1,004		109	△ 895
2. 投資有価証券の取得	△ 15		-	15
3. 資本的支出	△ 20,792		△ 21,647	△ 855
4. 施設借用保証金の減少(純額)	335		276	△ 59
5. 有形固定資産の売却による収入	1,490		1,066	△ 424
6. 非支配持分の買取	△ 106		-	106
7. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)	△ 931		20	951
8. 事業の売却(現金流出額との純額)	431		△ 34	△ 465
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 18,584	△ 20,210	△ 1,626
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)	△ 16,282		29,052	45,334
2. 長期債務の増加	305		2	△ 303
3. 長期債務の返済	△ 524		△ 20,299	△ 19,775
4. 親会社の支払配当金	△ 3,083		△ 5,285	△ 2,202
5. 非支配株主への支払配当金	△ 762		△ 0	762
6. 自己株式の取得	△ 13		△ 140	△ 127
7. 自己株式の売却	1		3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 20,358	3,333	23,691
IV 換算レート変動の影響		1,278	△ 2,070	△ 3,348
現金及び現金同等物の増減額	5,095		23,009	17,914
期首現金及び現金同等物残高	46,631		51,726	5,095
期末現金及び現金同等物残高	51,726		74,735	23,009
営業活動によるキャッシュ・フローの追記				
1. 支払利息の支払額	652		482	△ 170
2. 当期税金の支払額	2,813		9,636	6,823
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務	299		1,843	1,544

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成22年6月23日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

1. 1株当たり情報

当社は1株当たり利益の算出にあたり、FASB会計基準書第260号「1株当たり利益」を適用しています。1株当たり当社株主に帰属する当期純利益および希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益の算出に用いた株式数は次のとおりです。

株式数（単位：株）	22年3月期	23年3月期
基本的	220,158,389	220,131,599
希薄化後	220,158,389	220,131,599

ストックオプションに対する希薄化効果を考慮しておりますが、22年3月期および23年3月期において希薄化効果はありません。

2. その他費用－純額－の主な内訳

その他費用－純額－の主な内訳は次のとおりです。

22年3月期	
為替差損（純額）	723 百万円
支払利息	650
投資有価証券の減損	632
23年3月期	
品質対応費	2,874 百万円
為替差損（純額）	2,102
投資有価証券の減損	805
支払利息	481

3. 重要な後発事象

該当事項はありません。

なお、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストックオプション等、企業結合等、資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。